

中小企業の診断及び助言に関する実務の事例 III : 解答用紙

(生産・技術を中心とした経営の戦略及び管理に関する事例)

第3問 (配点 20点)

(a)

デザインから製造迄の一貫生産体制、熟練技術者、直接取引が可能な自社ブランドの保持

(b)

受注量の8割は低価格品が中心で、開発経験や技術継承、生産管理体制に不足がある。

第2問 (配点 30点)

(a)

精度の高い生産計画と資材調達計画の立案。

精度の高い需要予測とロットサイズの適正化。

(b)

課題は、①月次の計画立案が、受注後の変動や特急品に対応不足なため、日・週次等の短サイクル化、②資材欠品の発生抑制のため、安全在庫や調達リードタイムの明確化である

課題は、受注量を超えるロットサイズで過大在庫が生じているため、①需要予測の精度向上を図ると共に、②受注量に適したロットサイズの適正化で在庫を削減し効率化を図る

受験番号(楷書で丁寧に書き込んで下さい)      イニシャル

採点欄

第3問 (配点 20点)

C社は、①製品企画面では開発経験の不足があるため、デザインの外部研修やX社等との商談への同行等による専門能力開発が課題で②生産面では分業化された工程や熟練技術者の技能継承の不足があるため、マイスター制度や熟練技術の標準化による多能工化を図る。

第4問 (配点 30点)

C社は、手作り感のある高級仕様ニーズに対し、熟練技術や小ロット対応可能な一貫生産体制を活用し、高付加価値製品の製造による差別化が望ましい。そのために、デザイン開発力の強化、熟練職人技術の若手への円滑な継承を図り、高品質な製品を効率的に生産できる体制を確立し、直営店の開設を目指す。